

(別添)

企画提案書評価項目及び配点一覧

仕様書記載ページ	大項目	通し番号	中項目	小項目	要件	必須項目	配点		
7	3 システム設計			必須仕様項目			40		
7	3.1 基本設計	1	(1)業務理解		仕様書記載の内容を満たすこと。	○			
7		2	(2)本システムの機能、性能の要件		仕様書記載の内容を満たすこと。	○			
7		3	(3)基本設計書の作成		仕様書記載の内容を満たすこと。	○			
7		4	(4)処理設計の検討		仕様書記載の内容を満たすこと。	○			
7	3.2 詳細設計	5	詳細設計		仕様書記載の内容を満たすこと。	○			
9	4 システム開発要件			必須仕様項目			100		
9	4.1 システム構築基本要件	6	(1)システム構成		仕様書記載の内容を満たすこと。	○			
9		7	(2)ネットワーク		仕様書記載の内容を満たすこと。	○			
9		8	(3)システムの安定稼働		仕様書記載の内容を満たすこと。	○			
9		9	(4)セキュリティ		仕様書記載の内容を満たすこと。	○			
9		10	(5)拡張性		仕様書記載の内容を満たすこと。	○			
9	4.2 ハードウェア要			必須仕様項目			100		
9	別紙1	11	(1)ハードウェアの概要	ハードウェアの概要	仕様書記載の内容を満たすこと。	○			
別紙1		12	(2)詳細ハードウェア仕	(ア) 一般的なハードウェア仕様	仕様書記載の内容を満たすこと。	○			
別紙1		13	(イ) 業務クライアント(デスクトップ)	仕様書記載の内容を満たすこと。	○				
別紙1		14	(ウ) 業務クライアント(ノートブック)	仕様書記載の内容を満たすこと。	○				
別紙1		15	(エ) 利用者用端末	仕様書記載の内容を満たすこと。	○				
別紙1		16	(オ) バーコードリーダ	仕様書記載の内容を満たすこと。	○				
別紙1		17	(カ) カラーレーザープリンタ	仕様書記載の内容を満たすこと。	○				
別紙1		18	(キ) ルータ	仕様書記載の内容を満たすこと。	○				
別紙1		19	(ク) ハブ	仕様書記載の内容を満たすこと。	○				
別紙1		20	(ケ) ファイアウォール	仕様書記載の内容を満たすこと。	○				
別紙1		21	(コ) ネットワークストレージ	仕様書記載の内容を満たすこと。	○				
10		4.3 ソフトウェア要			必須仕様項目				56
10		別紙1	22	(1)ソフトウェアの概要	ソフトウェアの概要	仕様書記載の内容を満たすこと。		○	
10	23		(2)ソフトウェア仕様	ア GUI動作環境	アイコン、プルダウンメニュー等を利用し、利用者にGUI(グラフィックユーザーインターフェイス)に優れた動作環境を提供できること。	○			
10	24		イ サポート	OS等のソフトウェアについては、利用期間中のサポートがあること。本システムの利用期間内は、OS等のソフトウェアの開発元等からの商用サポートが受けられるものとする。	○				
10	25		ウ 利用者サービス	利用者サービスの提供に当たっては、特殊なソフトウェアをインストールさせることなく、提供が可能なこと。	○				
10	26		エ EUC	EUC(エンド・ユーザ・コンピューティング)による作業効率向上に対応したシステムとすること。	○				
10	27		オ 最新の修正パッチの適用	修正パッチ等は、最新の状態で適用されていること。	○				
10	28		カ プログラム作成、保守用ユーティリティ	プログラムの作成、保守及び実行を管理するうえで必要なユーティリティソフトウェアを備えていること。	○				
10	29		キ データベースアクセスインターフェイス	データベースアクセスインターフェイスとしてODBC、もしくはこれと同程度の機能を備えていること。	○				
11	30		ク ウィルス対策ソフトとバックアップソフト	ウィルス対策ソフトとバックアップソフトは、受注者が用意すること。	○				
11	31		ケ 脆弱性への対処	導入するアプリケーションは、既知の脆弱性には対処を行い、SQLインジェクションやクロスサイトスクリプティング等の対処を行うこと。	○				
11	4.4 セキュリティ要				必須仕様項目			140	
11	別紙1	32	(1)セキュリティ対策		情報の改ざん、漏えい等、システムへの不正アクセスの防止対策及びコンピューターウイルス等のセキュリティ対策、個人情報の保護等に万全を期し、機密性、完全性、可用性、暗号化通信等、セキュリティに必要な機能について検討すること。	○			
11		33	(2)ログ取得		システムログ、アクセスログ等を取得し、必要な期間、蓄積できること。	○			
11		34	(3)脆弱性検査		外部公開するシステムのため、サーバ、ファイアウォール、WEBアプリケーション等に対して脆弱性がないことを検査ツール等で確認・証明のうえ導入を行い、運用中に新たな脆弱性が発見された場合は対応すること。	○			
11		35	(4)ファイアウォール		ファイアウォールの稼働監視を行い、稼働状況を報告すること。	○			
11		36	(5)ウィルス対策ソフト		サーバ及び端末には商用サポート付のウィルス対策ソフトを導入し、利用期間中は常に最新のウィルス定義ファイルが自動更新できるようにすること。	○			
11		37	(6)未知の脅威への対策		サンドボックス等による未知の脅威への対策の導入も検討すること。	○			
別紙2	4.5 機能要件		(1)基本的な仕様	必須仕様項目			880		
別紙2	別紙2	38	ア OS標準のブラウザだけで動作		運用管理や操作が容易であり、クライアント側はシステムの動作においてOS標準のブラウザだけで動作するデータベースや検索エンジンを採用すること。	○			
別紙2		39	イ ブラウザのGUI利用		各機能はブラウザのGUIを用いることで容易に操作できること。	○			
別紙2		40	ウ 複数業務起動		複数ウィンドウを同時に起動して、業務が行えること。	○			
別紙2		41	エ 業務権限設定		管理者と利用職員との権限設定が発注者により設定可能なこと。また、利用職員単位に使用権限が管理者により設定できること。	○			
別紙2		42	オ ID、パスワード管理		本システムを利用する際は、ユーザーIDとパスワードによる認証を行うこと。なお、パスワードポリシーは本県の情報セキュリティポリシー要件を満たすこと。(10文字以上、数字、英字、記号を含む)	○			
別紙2		43	カ 複数の機関のデータ登録		複数の機関のデータを登録でき、ユーザーIDに紐づくグループによる各種データアクセス制御(参照(検索)、更新、削除、ダウンロードなど)を個別に管理できる仕組みとすること。	○			
別紙2		44	キ コードの追加		コード情報(プルダウン選択肢の内容等)の追加などは発注者(管理者)でも簡単にできること。	○			
別紙2		45	ク 操作エラー音・コメント		操作エラーなどの場合に、アラーム音やコメント等が表示できること。なお、音の有無や音量については職員による変更が可能であること。	○			
別紙2		46	ケ 容易な操作		目録データやデジタルコンテンツの登録・追加が、特別なコンピュータの知識がなくても容易にできること。	○			

別紙2	47	コ	TLSの使用	IDとパスワードによる認証機能を使用する場合や通信内容の暗号化を必要とする場合は、TLS 1. 2以上を使用すること。	○
別紙2			仕様項目		
別紙2	48	ア	機能のレベルアップ	パッケージシステムの機能のレベルアップ(バージョンアップ)に対応すること。	
別紙2	49	イ	日付カレンダー入力	日付項目は手入力以外にカレンダーを表示した入力もできること。	
別紙2	50	ウ	カーソル位置色分け表示	カーソル位置は色分けを行い、画面上のどこにあるのか把握できるようにすること。	
別紙2	51	エ	障害の確認方法	統計などのシステムの日次処理における障害が発生した場合、利用職員が該当箇所を分かる術があること。	
別紙2	52	オ	操作マニュアルとヘルプ	操作方法が不明な場合に参照できるマニュアルとヘルプファイルがあること。利用者用画面にも、操作説明の画面があること。	
別紙2	53	カ	任意一致で検索	システムで提供される検索機能は、任意一致で検索できること。	
別紙2	54	キ	魅力的な提案	基本的な要件に関する魅力的な提案があれば記載すること。	
別紙2			(2) 目録データ管理		
別紙2			必須仕様項目		
別紙2	55	ア	入力用フォーマット	入力用フォーマットは、基本パターンその他、資料の種類に応じて任意に項目を設定できること。	○
別紙2	56	イ	目録データ項目の追加・修正	目録データ項目は、システム稼働後も管理者権限の職員にて容易に追加、修正、削除できること。	○
別紙2	57	ウ	入力必須項目	入力必須項目をわかりやすく表示すること。	○
別紙2	58	エ	初期値	初期値の設定ができること。	○
別紙2	59	オ	一括登録	目録データを個別及び一括で登録、編集、削除、出力する機能を設けること。	○
別紙2	60	カ	公開・非公開の制御	非公開のデータとウェブで一般公開するデータ、施設内でのみ公開するデータを制御できること。	○
別紙2	61	キ	階層検索管理	階層検索を可能とするための登録および管理が可能で、少なくとも10階層以上扱えること。	○
別紙2	62	ク	逐次刊行物管理	逐次刊行物の登録および管理が可能で、タイトル情報に巻号情報が紐づく方式とすること。	○
別紙2	63	ケ	多言語対応	多言語(UTF-8)が扱えるシステムであること。	○
別紙2	64	コ	位置情報	発見場所や史跡位置などの位置情報管理を行うこと。緯度・経度は手入力以外に国土地理院の電子国土地図などの地図システムを表示し、視覚的な位置情報入力ができること。	○
別紙2	65	サ	データのリンク	固定URLなどにより、登録データの相互リンク機能を設けること。	○
別紙2	66	シ	各種区分メンテナンス	システム管理者は、各種区分(コード情報、マスター辞書、異体字辞書など)のメンテナンス(内容の修正、追加、削除)ができること。	○
別紙2			仕様項目		
別紙2	67	ア	文字種制御	目録データ項目は、以下のような文字種による制御ができること。 ・文字型 ・文字型(改行あり) ・半角文字のみ ・数値のみ ・日付 ・緯度経度 ・コード選択式 ・自動採番	
別紙2	68	イ	UCS 規格文字	外字は指定せず、代替可能な UCS 規格内の文字を用いる。	
別紙2	69	ウ	カレンダー参照入力	日付はカレンダーアイコンによるカレンダー参照入力ができること。	
別紙2	70	エ	日付入力	日付が入力できる項目は、以下のようなデータが登録できること。 ・西暦・和暦 ・年・月・日のいずれかもしくは全てが不明なデータ ・閏月 ・太陰太陽暦への対応	
別紙2	71	オ	緯度経度	緯度経度が入力できる項目は、以下のようなデータも登録できること。また、日本測地系のデータは世界測地系に変換できること。 ・60進表記 ・10進表記 ・日本測地系データ ・世界測地系データ	
別紙2	72	カ	コード選択	コード選択式項目は、1つの選択以外に、複数選択が可能なこと。	
別紙2	73	キ	自動採番	自動採番項目は、資料番号等について、データ登録時に固定値+自動的に番号が付与される項目とすること。	
別紙2	74	ク	異体字	異体字とみなして検索する字体リストを提供すること。	
別紙2	75	ケ	魅力的な提案	基本的な要件に関する魅力的な提案があれば記載すること。	
別紙2			(3) デジタルコンテンツの登録・管理		
別紙2			必須仕様項目		
別紙2	76	ア	デジタルコンテンツの付随情報	デジタルコンテンツとその付随情報(ファイル名、ファイル形式、ファイルサイズ、タイトル、著作権情報、撮影・作成年、原本保管場所等)を個別及び一括で登録、編集、削除する機能を設ける。	○
別紙2	77	イ	デジタルコンテンツ付随情報と目録データの関連付け	デジタルコンテンツ付随情報と目録データを関連づけ、容易に管理できること。	○
別紙2	78	ウ	静止画像のファイル形式	登録・管理できる静止画像として、JPEG、BMP、TIFF、PNG、PDFなどのファイルが扱えること。	○
別紙2	79	エ	動画データのファイル形式	公開用の動画データの形式として、MP4、MPEGなどのファイルが扱えること。	○
別紙2	80	オ	音声データのファイル形式	公開用の音声データの形式として、MP3、waveなどのファイルが扱えること。	○
別紙2	81	カ	電子透かし	画像を登録した際に、電子透かし(あらかじめ決められた文字列を見た目にはわからない形で画像に埋め込む技術)が付与できること。(ISO規格 Extensible Metadata Platform(XMP)をメタデータに埋め込む方式) また、電子透かしの検出を行うこともできること。	○

別紙2	82	キ	3Dデータ	3Dデータも扱えること。	○
別紙2			仕様項目		
別紙2	83	ア	登録件数	令和7年度末の想定データ件数(別紙3参照)のファイルが登録できるシステムであること。	
別紙2	84	イ	範囲指定	マウス操作で画面上の作品の一部分を範囲指定し、状態(汚損・亀裂の発生等)を登録・管理できること。	
別紙2	85	ウ	サムネイル画像	JPEG形式、TIFF形式等の画像を登録した際には、ブラウザで最適に表示できるサムネイル画像が自動作成されること。	
別紙2	86	エ	クレジット文字	画像を登録した際に、画像にクレジット文字(クレジット画像)を合成できること。	
別紙2	87	オ	画像情報	JPEG形式の画像については、ファイルが持つExif情報から解像度、撮影日、緯度経度情報などをメタデータとして自動的に取り込めること。	
別紙2	88	カ	魅力的な提案	デジタルコンテンツの登録・管理に関する魅力的な提案があれば記載すること。	
別紙2			必須仕様項目		
別紙2			(4)資料の貸出・状態・展示・修復履歴機能		
別紙2	89	ア	貸与履歴等の管理	資料の貸出・状態・展示・修復履歴管理機能があること。	○
別紙2	90	イ	貸出情報	資料を他施設に貸し出したときの情報を登録、管理し、検索、閲覧、修正、削除等が行えること。また貸出予定も管理できること。	○
別紙2	91	ウ	複数貸出管理	1回の貸出で複数の資料を貸し出す場合があることから、1件の貸出情報に対して複数の資料情報が関連付けできること。	○
別紙2	92	エ	展示情報	資料を展示したときの情報を登録、管理し、検索、閲覧、修正、削除等が行えること。また、展示予定も管理できること。	○
別紙2	93	オ	複数展示管理	1回の展示替えて複数の資料を入れ替える場合があることから、1件の展示情報に対して複数の資料情報が関連付けできること。	○
別紙2	94	カ	修復情報	資料を修復するときの情報を登録、管理し、検索、閲覧、修正、削除等が行えること。また、修復予定も管理できること。	○
別紙2	95	キ	重複期間チェック	資料の「貸出」「展示」「修復」において、資料の重複期間利用が発生しないように、各資料単位で重複期間チェックが行えること。	○
別紙2	96	ク	予約等の管理	資料の「貸出」「展示」「修復」では、各資料単位で、「仮予約期間」、「予約期間」が把握でき、現在、「仮予約中」、「予約中」、「貸出・展示中・修復中」、「返却・在庫済」であるかが把握できる仕組みであること。	○
別紙2	97	ケ	更新履歴	貸出修復情報単位に更新履歴が管理できること。各履歴日コメントが入力できること。	○
別紙2	98	コ	版数管理	データの修正登録時は版数管理を可能とし、更新前の情報の参照と復元が可能なこと。	○
別紙2	99	サ	データ修正機能	展示・貸出・修復情報は1件ずつデータ内容が修正できること。	○
別紙2	100	シ	データ削除機能	展示・貸出・修復情報は削除可能なこと。削除は、1件ずつの削除のほか、一括削除もできること。	○
別紙2	101	ス	検索機能	展示・貸出・修復情報は全ての情報が検索可能なこと。	○
別紙2	102		仕様項目		
別紙2	102	ア	フィルム・画像貸出管理	フィルムなどの貸し出しも管理できること。	
別紙2	103	イ	魅力的な提案	資料の貸与・状態・展示・出品・修復履歴機能に関する魅力的な提案があれば記載すること。	
別紙2			必須仕様項目		
別紙2			(5)業務端末検索機能		
別紙2	104	ア	高速検索	高速検索エンジンを用いた、ストレスを感じない高速な検索が可能なこと。(4.6(2)のパフォーマンス要件参照)	○
別紙2	105	イ	各種一致検索	入力した文字列に対する「前方一致」、「部分一致」、「後方一致」、「完全一致」の検索が可能なこと。	○
別紙2	106	ウ	任意項目検索	任意の項目を対象とした、キーワード及び条件指定による検索を可能とすること。	○
別紙2	107	エ	キーワード全文検索	項目を限定せずに、キーワードによる全文検索を可能とすること。	○
別紙2	108	オ	論理演算	複数の条件及びキーワードの組み合わせによる検索を可能とすること。その際、入力値間の「AND検索」、「OR検索」が可能なこと。	○
別紙2	109	カ	検索文字種	アルファベットの大文字・小文字、全角・半角、数字や記号の全角・半角を意識しないで検索できること。	○
別紙2	110	キ	範囲検索	年代や資料番号などの数値項目は、範囲検索が可能なこと。	○
別紙2	111	ク	異体字	検索実行時は旧字や古字、別体などの異体字について、字体を意識することなく検索できるようにする	○
別紙2	112	ケ	検索条件保存	ユーザー単位で、よく使う検索条件が保存でき、再利用が可能なこと。	○
別紙2	113	コ	検索結果一覧ソート	検索した結果には、指定された項目によるソートを可能とすること。ソート条件は、3項目以上の指定が可能でありそれぞれ昇順、降順の指定が可能なこと。	○
別紙2	114		仕様項目		
別紙2	114	ア	NOT検索	その文字列を含まない「NOT検索」が可能なこと。	
別紙2	115	イ	件名検索	件名典拠(シソーラス)による検索ができること。	
別紙2	116	ウ	ハイライト表示	検索結果一覧で検索キーワードをハイライト表示できること。	
別紙2	117	エ	検索結果リストの出力	検索結果リストの出力がCSVなどで行えること。	
別紙2	118	オ	全件表示	検索条件を入力しないで検索するなどの方法で、全件表示が可能なこと。	
別紙2	119	カ	魅力的な提案	検索機能に関する魅力的な提案があれば記載すること。	
別紙2			必須仕様項目		
別紙2			(6)ダウンロード・インポート機能		
別紙2	120	ア	ダウンロード機能	システムに登録されている全データもしくは、任意のデータのみダウンロードが可能なこと。	○
別紙2	121	イ	インポート機能	一括でシステムに登録・更新(インポート)ができること。	○
別紙2	122	ウ	ダウンロード、インポートのフォーマット	ダウンロード、インポートのフォーマットとして、CSV形式(カンマ区切り)、TSV形式(タブ区切り)のいずれかが指定できること。	○
別紙2	123	エ	画像等のダウンロード	資料情報に関連付けられている画像等ファイルもダウンロード、インポートができること。	○

別紙2	124	オ	インポート時の不正データチェック	インポートの際は、不正なデータが登録されないようにフォーマットチェックを行うこと。エラーがあった際は、該当箇所をわかりやすく示せること。	○
別紙2			仕様項目		
別紙2	125	ア	ダウンロード、インポートのフォーマット	ダウンロード、インポートのフォーマットとして、Excel形式(xls,xlsx)が指定できること。	
別紙2	126	イ	ソートした状態でのダウンロード	検索時にソート指定をした場合は、ソートした状態でダウンロードできること。	
別紙2	127	ウ	魅力的な提案	ダウンロード・インポート機能に関する魅力的な提案があれば記載すること。	
別紙2			必須仕様項目		
別紙2	128	ア	コード管理	選択式の項目で扱うコード情報の管理ができ、職員による値の追加、修正、削除ができること。	○
別紙2	129	イ	住所録管理	受入先や貸出先等の住所録の管理ができ、データ登録時に利用できること。	○
別紙2	130	ウ	郵便番号住所入力	住所情報については、郵便番号と住所の相互変換ができること。	○
別紙2			仕様項目		
別紙2	131	ア	魅力的な提案	コード、マスター管理機能に関する魅力的な提案があれば記載すること。	
別紙2			必須仕様項目		
別紙2	132	ア	図書館システムとの統合検索	鳥取県立図書館の書誌データ(メタデータ)を登録することで、図書館の書誌情報と本システムのデジタルアーカイブデータが統合検索ができること。	○
別紙2			仕様項目		
別紙2	133	ア	魅力的な提案	図書館特記事項に関する魅力的な提案があれば記載すること。	
別紙2			必須仕様項目		
別紙2	134	ア	階層構造管理	公文書館では、特定歴史公文書等として簿冊および件名の階層構造で管理しており、これらの情報が管理できること。	○
別紙2	135	イ	行政資料等の管理	公文書館では、特定歴史公文書等の他に、行政資料、統計刊行物、マイクロフィルム、県史編集収集資料等を扱っている。これらの情報も管理できること。	○
別紙2	136	ウ	資料群やコレクションなどの情報管理	資料群やコレクションなどの情報も管理できること。	○
別紙2			仕様項目		
別紙2	137	ア	魅力的な提案	公文書館特記事項に関する魅力的な提案があれば記載すること。	
別紙2			必須仕様項目		
別紙2	138	ア	資料群やコレクションなどの情報管理	人文系は、資料群やコレクションなどの情報も管理できること。	○
別紙2	139	イ	図書情報管理	博物館で管理している図書情報も管理できること。	○
別紙2			仕様項目		
別紙2	140	ア	学名に関する情報	生物分野は、学名に関する情報および、門、綱、目、科などの高次分類群の階層情報のマスター管理ができること。	
別紙2	141	イ	採集地に関する情報	生物・地学分野は採集地に関する情報が管理できること。採集地は、緯度経度情報も管理でき、緯度経度情報を用いて、等高線が描かれている国土院地図が利用できること。	
別紙2	142	ウ	緯度経度情報	緯度経度情報は、日本測地系と世界測地系のデータが存在しており、日本測地系のデータは世界測地系に変換できること。	
別紙2	143	エ	魅力的な提案	博物館特記事項に関する魅力的な提案があれば記載すること。	
別紙2			必須仕様項目		
別紙2	144	ア	作家に関する情報	美術館では作家に関する情報(作家名、生没年、略歴等)を作品情報とは別で管理でき、作品情報ならびに図書情報と紐づけできること。	○
別紙2	145	イ	作品情報	作品情報は、作品に関する基本情報以外に、作品の来歴や文献情報、作品解説なども管理できること。	○
別紙2	146	ウ	図書情報	博物館美術振興課(美術館開館後は美術館)で管理している図書情報も管理できること。また、図書資料のバーコード、分類記号等の出力ができること。	○
別紙2	147	エ	個別帳票	個別帳票として、作品カード帳票、展示リスト、資料ラベル等の出力が可能なこと。	○
別紙2	148	オ	表示・閲覧制限	作品情報の中にある評価額や購入額などの項目は、ボランティアや補助員等には表示・閲覧できないようにすること。	○
別紙2	149	カ	バーコード管理	作品のバーコード管理ができること	○
別紙2			仕様項目		
別紙2	150	ア	寄託作品	所蔵作品に加え、寄託作品も管理できること。(寄託期間や寄託者名など)	
別紙2	151	イ	展覧会出品歴	作品情報において展覧会出品歴の更新が容易であること。	
別紙2	152	ウ	魅力的な提案	美術資料特記事項に関する魅力的な提案があれば記載すること。	
別紙2			必須仕様項目		
別紙2	153	ア	階層情報	埋蔵文化財センターでは、遺跡情報 - 調査情報 - 遺物の3階層でデータ管理をしている。それぞれの情報、およびリンク関係が管理できること。	○
別紙2	154	イ	写真管理	埋蔵文化財センターでは、大量の写真を保有しており、これらの情報が管理できること。	○
別紙2	155	ウ	報告書管理	埋蔵文化財センターの発掘調査報告書も管理できること。	○
別紙2	156	エ	遺物管理	遺物については、遺物の写真の他に、実測図も管理できること。	○
別紙2	157	オ	奈良文化財研究所との連携	各遺跡情報、遺物情報などの該当報告書から、奈良文化財研究所の全国遺跡報告総覧の各調査報告書へ遷移できること。	○
別紙2			仕様項目		
別紙2	158	ア	地図連携	遺跡情報や調査情報については、インターネット地図システム(鳥取WEBマップ、Google Maps、国土院地図等)と連携できること。	
別紙2	159	イ	魅力的な提案	埋蔵文化財センター特記事項に関する魅力的な提案があれば記載すること。	
別紙2			必須仕様項目		
別紙2			(13)利用者向け公開機能(全般)		

別紙2	160	ア	ユニバーサルデザイン	アクセシビリティおよびユーザビリティを考慮し、ユニバーサルデザインに基づいた、わかりやすく見やすい画面とすること。(JIS X 8341-3:2016 レベルAA以上)	○
別紙2	161	イ	画面デザイン	ヘッダーやフッター、色合いなどについては、本県および本システムのイメージに合わせて変更すること。	○
別紙2	162	ウ	スマートフォン画面	スマートフォンなどに対応した機能を持ち、閲覧する場合は適切なレイアウトに自動的に表示変更されるレスポンシブデザインに対応していること。	○
別紙2	163	エ	画像データの閲覧方式	画像データの閲覧方式は、利用者が特別なソフトウェアを必要としない方式とする。画像をクリックするとデジタルビューワーが表示されること。	○
別紙2	164	オ	多言語	多言語(UTF-8)が扱えるシステムであること。	○
別紙2	165	カ	ヘルプ画面	利用者の操作説明のためのヘルプ画面を準備すること。	○
別紙2	166	キ	メンテナンス機能	職員によるコンテンツの作成更新の容易性を高め、簡易な操作でメンテナンスを可能とし、CMS等を導入し、トップページやお知らせページ、特集ページ等の作成ができること。	○
別紙2			仕様項目		
別紙2	167	ア	トップ画面	トップ画面で、ピックアップ表示、簡易検索、詳細検索、カテゴリ検索、地図検索が選択できること。	
別紙2	168	イ	ピックアップ表示	ピックアップ表示ではお勧め資料として登録した資料をトップ画面に毎回ランダムまたは固定で表示できること。お勧め資料の画像をクリックすると詳細画面に遷移すること。	
別紙2	169	ウ	公文書検索	公文書は、簿冊、件名の階層構造を持っている。簿冊から件名の一覧を表示し、件名の詳細画面に遷移できること。また件名から簿冊情報に遷移できること。	
別紙2	170	エ	パンくずリスト	各画面の遷移履歴を表すパンくずリストが表示でき、クリックすることで指定した画面に遷移できること。	
別紙2	171	オ	展示機能	資料管理機能の展示機能を利用して、Web上でミニ企画展が行えるような機能を有すること。	
別紙2	172	カ	展示機能	資料管理機能の展示機能と連携し、現在、常設展示している作品の一覧、閲覧ができること。	
別紙2	173	キ	魅力的な提案	利用者向け公開機能に関する魅力的な提案があれば記載すること。	
別紙2		(14)利用者向け検索機	必須仕様項目		
別紙2	174	ア	高速検索	高速検索エンジンを用いた、ストレスを感じない高速な検索が可能なこと。(4.6(2)のパフォーマンス要件参照)	○
別紙2	175	イ	公開データ制御	「公開データ」および「公開項目」のみ検索・閲覧できるよう制御できること。	○
別紙2	176	ウ	一括検索	複数の機関のデータを一括で検索・表示することができること。	○
別紙2	177	エ	検索方法選択	簡易検索、詳細検索、カテゴリ検索、地図検索が選択できること。	○
別紙2	178	オ	簡易検索	簡易検索では、全資料を対象に、項目を限定せずにフリーワードによる全文検索を可能とすること。また、共通項目(タイトルや場所、年代等)による検索を可能とすること。	○
別紙2	179	カ	詳細検索	詳細検索では、資料種別(別紙3-2参照)及び対象施設を指定して、任意の項目を対象とした、キーワード及び条件指定による検索を可能とすること。また、複数の条件及びキーワードの組み合わせによる検索を可能とすること。その際、入力値間の「AND検索」、「OR検索」が可能なこと。	○
別紙2	180	キ	カテゴリ検索	カテゴリ検索では、指定した階層(資料種別・分野)に属するデータの一覧表示を可能とすること。	○
別紙2	181	ク	地図検索	地図検索では、県内の簡易地図を表示し、地域をクリックすることで検索を可能とすること。	○
別紙2	182	ケ	異体字	検索実行時は旧字や古字、別体などの異体字について、字体を意識することなく検索できるようにすること。	○
別紙2	183	コ	文字種	検索実行時は、アルファベットの大文字・小文字、全角・半角、数字や記号の全角・半角を意識しないで検索できること。	○
別紙2	184	サ	各種一括検索	入力した文字列に対する「前方一致」、「部分一致」、「後方一致」、「完全一致」の検索が可能なこと。	○
別紙2	185	シ	固定URL	本システムの検索結果詳細画面は固定URLとし、他サイトから容易にリンクを貼ることができるようにすること。	○
別紙2			仕様項目		
別紙2	186	ア	ファセット検索機能	ファセット検索機能を設けること。	
別紙2	187	イ	魅力的な提案	利用者向け検索機能に関する魅力的な提案があれば記載すること。	
別紙2		(15)利用者向け検索機能(検索結果一覧画面)	必須仕様項目		
別紙2	188	ア	ヒット件数表示	ヒットしたデータ件数を表示できること。	○
別紙2	189	イ	一覧表示件数の設定	一覧表示件数の設定を変更できること。	○
別紙2	190	ウ	ソート指定	検索結果一覧に表示するデータの並び順を選択し切り替えることができること。	○
別紙2	191	エ	絞込検索	検索条件を追加することにより、絞込検索ができること。	○
別紙2	192	オ	一覧表示方法	メタデータ+サムネイル画像の一覧の表示が可能なこと。	○
別紙2	193	カ	画面遷移	各項目またはサムネイル画像をクリックすると詳細画面に遷移すること。	○
別紙2			仕様項目		
別紙2	194	ア	検索条件	検索条件の表示が可能なこと。	
別紙2	195	イ	ハイライト表示	検索結果一覧で検索キーワードをハイライト表示できること。	
別紙2	196	ウ	魅力的な提案	検索結果一覧画面に関する魅力的な提案があれば記載すること。	
別紙2		(16)検索結果詳細画面(デジタル資料閲覧機能)	必須仕様項目		
別紙2	197	ア	詳細画面	詳細画面では、サムネイル画像と共に、該当資料の詳細な情報が閲覧できること。	○
別紙2	198	イ	画像表示	1つの資料に、複数の画像がある場合は、全ての画像の閲覧ができること。	○
別紙2	199	ウ	メディア情報	資料に付随する静止画像、動画、音声、PDF等のメディア情報も閲覧できること。	○

別紙2	200	エ	デジタルコンテンツ表示	目録データに対応するデジタルコンテンツが存在する場合には、サムネイル及びデジタルコンテンツへのリンクを表示し、当該リンクからデジタルコンテンツを閲覧可能とする。	○
別紙2	201	オ	画像ビューア	画像ビューアは、直観的な操作で拡大、縮小、回転、移動、ページ送り等が行えるものとする。	○
別紙2	202	カ	高精細画像	サイズの大きな画像は、表示しているエリアのみを配信するような高精細画像をスムーズに表示できる	○
別紙2	203	キ	3D画像	立体物の3D画像を、360度どこからでも見えるように回転して表示できること。	○
別紙2	204	ク	図書資料の表示機能	図書形態の資料は、ページめくりによる閲覧や全ページのサムネイル一覧表示が可能なこと。	○
別紙2	205	ケ	翻刻文	システムに登録された翻刻文の表示および翻刻文の検索ができること。	○
別紙2	206	コ	動画・音声の配信方式	システムに登録された動画・音声の公開ができること。	○
別紙2	207	サ	利用条件表示	クリエイティブコモンズのライセンスマークなど、利用条件を容易に明示することができること。	○
別紙2	208	シ	印刷機能	表示されたデジタルデータを印刷できる機能があること。その際、印刷できるデータとできないデータを制御できること。	○
別紙2	209	ス	目録データダウンロード機能	検索した結果(目録データ)は、全項目もしくは任意の項目に対して、CSV形式でダウンロードできること。	○
別紙2	210	セ	画像等のダウンロード機能	画像等のデジタルデータのファイルがダウンロードできること。その際、ダウンロードできるデータとできないデータを制御できること。	○
別紙2			仕様項目		
別紙2	211	ア	地図連携	緯度経度情報を持つデータについては、インターネット地図(鳥取WEBマップ、Google Maps、国土地理院地図等)と連携し、該当箇所を表示できること。	
別紙2	212	イ	二次利用規約等	利用者にコピーライトや二次利用規約等に同意を求める画面の表示が行えること。	
別紙2	213	ウ	魅力的な提案	検索結果詳細画面(デジタル資料閲覧機能)に関する魅力的な提案があれば記載すること。	
別紙2			必須仕様項目		
別紙2	214	ア	タッチパネル端末	各館(図書館、博物館、公文書館、埋蔵文化財センター)に、来館者がタッチパネルで操作できる端末を設置し、(14)～(16)記載の仕様内容と同等の検索、閲覧を可能とすること。	○
別紙2			仕様項目		
別紙2	215	ア	タッチスクリーン入力画面	タッチパネル操作のための、操作しやすい専用の画面を用意すること。	
別紙2	216	イ	不正操作防止	利用者端末は検索、閲覧だけを可能にし、利用者による端末の不正操作を防止するための仕組みを導入すること。	
別紙2	217	ウ	魅力的な提案	利用者端末画面に関する魅力的な提案があれば記載すること。	
別紙2			必須仕様項目		
別紙2	218	ア	横断検索対応	ダブリンコアの要素に準じた、横断検索のために必要な目録データの項目を設定できること。	○
別紙2	219	イ	固定URL	本システムの検索結果詳細画面は固定URLとし、他サイトから容易にリンクを貼ることができるようにす	○
別紙2	220	ウ	外部事業者への提供	将来的に、画像を含むデータを外部(別の事業者)に提供することが可能なこと。	○
別紙2	221	エ	IIIF等	国際的な画像の相互運用性に考慮した配信方式(例:IIIF)に対応すること。	○
別紙2	222	オ	ジャパンサーチ等との連携	「国会図書館サーチ」や「ジャパンサーチ」「国立公文書館デジタルアーカイブ横断検索」「奈良文化財研究所」との連携を考慮した機能を設けること。	○
別紙2			仕様項目		
別紙2	223	ア	OAI-PMH	OAI-PMHによる目録データの一括提供機能などに対応すること。	
別紙2	224	イ	SRU/SRW、OpenSearch	SRU/SRW または OpenSearch による検索に対応すること。	
別紙2	225	ウ	魅力的な提案	外部連携機能に関する魅力的な提案があれば記載すること。	
別紙2			必須仕様項目		
別紙2	226	ア	統計作成	Web アクセス状況等の統計情報を作成し、利用状況の把握が可能なこと。統計データについては年度を越え蓄積することができること。	○
別紙2	227	イ	任意の帳票出力	条件を指定することで、必要とするデータを任意に抽出して、Excelにより帳票を容易に編集できること。その際、印刷だけでなく、画面確認やファイル出力も選択できること。また、作成した帳票の条件や書式を登録でき、次回以降は条件を修正するだけで同じ様式で出力できること。	○
別紙2	228	ウ	バーコード出力	事前に指定した印刷フォーマットでバーコード出力機能があること。(図書や資料に貼付するバーコード)	○
別紙2	229	エ	印刷機能	必要項目を選択して、事前に指定した印刷フォーマットで印刷できること。(画像データ含む)	○
別紙2			仕様項目		
別紙2	230	ア	定型帳票	システムで作成できる定型の帳票について記載すること。	
別紙2	231	イ	魅力的な提案	帳票関連に関する魅力的な提案があれば記載すること。	
別紙2			必須仕様項目		
別紙2	232	ア	郷土人物文献データベース	現在鳥取県立図書館システムで構築している「郷土人物文献データベース」(鳥取県に関連のある人物の情報(約15,000件)と人物についてかかれた文献(約38,000件)の情報を提供)を維持し、Web上で公開すること。	○
別紙2	233	イ	検索機能	検索機能として、「人物名」「市町村名」「分類」などでの検索や相互の複合検索が行え、「フリーワード」検索では、人物情報で表示される全ての項目を検索対象とすること。	○
別紙2	234	ウ	詳細画面	検索結果一覧には、「別名」「生没年」「出身地」「活動分野及び実績」などの情報も表示されること。	○
別紙2	235	エ	検索結果一覧	詳細画面では、「人物名」「人物名読み」「別名」「生没年」「出身地」「ゆかりの地」「活動分野及び実績」「参考資料」「著作権の有無」などの情報が表示されること。	○

別紙2		236		オ	詳細画面	詳細画面には、「関連文献・資料」のタブが表示され、リンク先では鳥取県立図書館のweb-opacの資料詳細画面にリンクされること。(固定URLによるリンク)	○	
別紙2		237		カ	人物検索	人物検索では、カナ先頭1文字の選択で該当人物の一覧表示ができること。	○	
別紙2					仕様項目			
別紙2		238		ア	検索画面	検索画面のデザインは、発注者と協議の上作成すること。		
別紙2		239		イ	関連書籍	関連書籍名を作成するときは、タイトルと巻次を合わせた文字列にすること。		
別紙2		240		ウ	魅力的な提案	人物情報データベースに関する魅力的な提案があれば記載すること。		
11	4. 6 非機能要件				必須仕様項目			80
11		241	(1)セキュアコーディング等			セキュアコーディング、WEBサーバの設定等は、対策の強化をすること。	○	
11		242	(2)パフォーマンス要件			仕様書記載の内容を満たすこと。また、具体的に対応可能な速度を提案すること。	○	
12		243	(3)可用性要件			本システムの運用時間は、原則として24時間とし、365日利用可能なシステム構成とすること。	○	
12		244	(4)拡張性要件			仕様書記載の内容を満たすこと。	○	
13	5 システム稼働				必須仕様項目			120
13	5. 1 データ登録・移行	245	(1)データ登録・移行			仕様書記載の内容を満たすこと。	○	
13		246	(2)受注者責任			移行データのシステムへの登録は、受注者が責任をもって行うこと。	○	
13		247	(3)文字種			現行システムで管理している文字種は、新システム上でも同様に扱えることとし、文字化けや違う文字コードへの変換間違いがないこと。	○	
13		248	(4)次回データ抽出			仕様書記載の内容を満たすこと。	○	
13	5. 2 システムテスト	249	(1)運用試験			システム稼働前に、システムの機能を検証するための運用試験を整備場所で行い、結果を発注者に報告し、不備があれば、本稼働前までに改善すること。	○	
13		250	(2)テスト仕様書、計画書			(1)の運用試験に先立ち、試験項目、試験方法及び試験期間等を定めたテスト仕様書、計画書を提出し、発注者の承諾を受けること。	○	
13	5. 3 操作研修	251	(1)操作説明会			仕様書記載の内容を満たすこと。	○	
13		252	(2)運用マニュアル			運用マニュアルについては、ユーザのシステム運用ルールに基づきカスタマイズされたマニュアルを提供すること。	○	
14	6. 保守・運用・管理等				必須仕様項目			126
14	6. 1 システムの運用及び保守	253	システムの運用及び保守			仕様書記載の内容を満たすこと。	○	
14	6. 2 障害等への問い合わせ対応等	254	(1)障害対応			仕様書記載の内容を満たすこと。	○	
14		255	(2)対応時間			午前8時30分から午後7時30分までとする。(緊急の場合は土曜日、日曜日、祝日も対応可能なこと。)	○	
14		256	(3)対象			本業務で賃貸借するハードウェア及びソフトウェア。	○	
14		257	(4)対応方法			仕様書記載の内容を満たすこと。	○	
15	6. 3 定期報告	258	定期報告			運用・保守に関する定期報告は、月1回程度実施すること。障害及び運用状況報告に加えて、改善提案を行うこと。	○	
15	6. 4 運用・保守業務のSLA	259	運用・保守業務のSLA			発注者は、本システムの運用・保守業務に係るサービスレベルの締結に関する事項(可用性の保証、遅延時間の保証、障害通知の保証等)を設定し、サービスレベル未達成時の対応についても提案するものとする。	○	
15	6. 5 ハードディスクのデータ消去	260	データ消去			賃貸借期間が満了したこと等に伴い受注者に返却する機器については、記録媒体内の情報を事前に消去又は記録媒体を破壊すると共に、本契約終了後速やかに撤去を行うこと。	○	
15	6. 6 魅力的な提案				仕様項目			
15		261	魅力的な提案			保守・運用・管理に関する魅力的な提案があれば記載すること。		
15	7 その他提案				仕様項目			40
15		262	魅力的な提案			上述以外に魅力的な提案があれば記載すること。		
	地域貢献度				仕様項目			20
		263	地域貢献度			鳥取県内に本店、支店、営業所又はその他の事業所を有している地元業者であるか、又は、地元業者との共同企業体であるか。		
技術点 合計								1,702